

- ◆企画名 秋学期キャンパスツアー2022  
日 程 2022年9月13日(火) 9:30~14:30(実施は12:30~14:30)  
場 所 関西大学千里山キャンパス  
参加者数 参加者人数：98人(ピア・サポータ5名、研修生1名、留学生92名)

## 目 的

秋学期から関西大学で学ぶ交換留学生を対象にキャンパスツアーを行うことで、関西大学への順応を促し、今後の充実した学生生活につなげる支援を目的とする。さらに、KUブリッジの活動紹介も併せて行い、今後の開催を予定している企画イベントへの参加を呼び掛けることで、KUブリッジの活動の発展に寄与する。

## 内 容

- 9:30 生活オリエンテーション担当者が2学舎A棟1階に集合。  
生活オリエンテーションの内容を確認する。  
9:50 2学舎A501(日本語説明会)、A503(英語説明会)に集合。  
10:10 生活オリエンテーション開始。  
12:15 キャンパスツアースタッフが2学舎A棟1階に集合。  
当日の動きについて最終確認を行う。  
12:30 キャンパスツアー開始。  
13:50 キャンパスツアー終了後、図書館前に集合し、記念撮影を行い、随時解散。  
14:30 当日スタッフは凜風館にてフィードバック後、解散。



## 効 果

- ・留学生が意欲的にキャンパスツアーに参加してくれた。
- ・はじめて留学生と対面で交流できたスタッフがいた。  
→名札を見て名前を呼んでくれた留学生がいたり、接した留学生たちの出身国である台湾、中国、韓国の文化について話が聞けたりした。
- ・留学生がよく質問してくれた。  
→関大のオリジナルタオルはウケが良く、どこで売っているか聞かれた。等
- ・積極的に自分から話しかけることができた。
- ・指示に困った場合でも「大丈夫？」と声をかけてくれて、優しい留学生ばかりだった。
- ・お借りしたピア・コミュニティのシャツを着ていたことで留学生からも見分けがつきやすく、キャンパスツアーで汗をかいても着替えがあって快適だった。
- ・KUブリッジのInstagram・Twitterや、キャンパスツアーアンケートのQRコードを最後に紙で見せたことでフォロワーが増えた。

- ・しっかりと準備や打ち合わせを行い、書類や持ち物に不足はなく、また慌てることなく堂々とキャンパスツアーを行うことができた。
- ・早い段階で資料を作成できていた。
- ・職員さんと頻繁に細かく連絡、やりとりができていた。
- ・時間が延びてしまったときのためのショートカットルートを事前に決めておいてよかった。

### 改善点

- ・スタッフの人数が足りていなかった。
- ・キャンパスツアーが1時間で収まり切らず長くなってしまい、暑さで後半は留学生がバテ気味だった。
- ・拡声器を使ったが、声が後ろまで届いていなかった。  
→もう少しグループを分けて、1グループの人数を調整する。
- ・バインダーに紐がついていれば両手が空いてやりやすかった。
- ・留学生に配布する資料がカラー印刷であればもっと場所を説明しやすかった。
- ・英会話に不慣れなメンバーもいるため、咄嗟に表現が出てこず、うまく誘導できない場面があった。  
→次回は右に寄って、車が来た、前につめて等のよく使いそうな用語を事前に準備してまとめておく。
- ・関大の豆知識を伝えるなどさらにキャンパスツアーが面白くなりそうなネタを話せたらよかった。  
→キャンパスツアーの台本を一から作り直したほうがいいと感じた。話のネタを事前に調べておく。
- ・時間内にルートを回ることができず、あすかの庭とITセンターの2か所を回ることができなかった。(英語)
- ・ツアー中に先導と後ろ等のポジションを変えて、スタッフみんなが留学生と話せるようにした方がよかった。
- ・最初に人数確認を忘れてしまい、もし途中でいなくなった人がいても気づかない状態だった。  
→定期的に人数確認を行う。
- ・原稿の日本語で留学生には難しい表現があったかもしれない。  
(例)部活→部活動、クラブに直す等  
→スタッフみんなで原稿を確認し合う。
- ・話に夢中になるあまり道を間違えそうになった。  
→もっと全体を見るよう意識する。
- ・キャンパスツアー前の休憩からの集合となったため、英語と日本語のグループの間に時間の差ができ、キャンパスツアーの開始時間がズレてしまった。  
→ツアー内で時間を調整しようとしたが、日本語の方は少し休憩が長くなりすぎてしまったかもしれない。開始時間は合わせるようにする。
- ・スタッフ間の連絡がスムーズにできなかった。  
→もう少し頻繁にツアー中の報告を行う。
- ・「休憩は〇分」と伝えるよりも、「〇時〇分まで休憩」と伝えたほうがよかった。
- ・アンケートの回答率が低かった。また、キャンパスツアーの時間が長いという回答が多かった。  
→もっとアンケートに協力してもらえるよう促す。ルートを見直す。

## 感 想

事前準備を念入りに行ったため、全員が初めてのキャンパスツアーであったにもかかわらず、当日は慌てずスムーズにキャンパスツアーを行うことができたと思う。留学生同士が仲良さそうにおしゃべりをしながら歩いている姿を見て、留学生同士の交流の機会を提供できたと感じ、キャンパスツアーをしてよかったと思った。